

2006 年度

科目名 日本語音声学	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者 増田 正子
授業テーマ 日本語音声のしくみを考える		
授業の概要と目標 日本語の音声・音韻の概略と特色を、日常のさまざまな疑問に答える形で考えていく。前半は、音声学の基本的事項を理解しその上で、日本語の母音・子音、さまざまな音声現象について具体例を通して明らかにしていく。後半は、音韻の変化、アクセント、イントネーション、地域語等について考える。		
評価方法 前期、後期の記述試験、発表、小課題によって評価する。 出席状況も平常点とする。		
テキスト 基本的にはプリントを配布する。	著者	出版社
参考書 講義時に適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 人間の言語の特質、言語の機能、言語行動と非言語行動について 2. 音声と音韻、音韻の単位、分類 3. 日本語の音韻の特色 4. 日本語の母音 5. 日本語の子音（1） 6. 日本語の子音（2） 7. 日本語の子音（3） 8. 日本語の子音（4） 9. 拍の構造、特殊拍について 10. さまざまな音声現象についての疑問と解明（1） 11. さまざまな音声現象についての疑問と解明（2） 12. さまざまな音声現象についての疑問と解明（3） 13. さまざまな音声現象についての疑問と解明（4） 14. さまざまな音声現象についての疑問と解明（5） 15. 記述試験 16. 音韻の変化と変遷（1） 17. 音韻の変化と変遷（2） 18. 音韻の変化と変遷（3） 19. 日本語のアクセント（1） 20. 日本語のアクセント（2） 21. 日本語のアクセント（3） 22. 日本語のアクセント（4） 23. 日本語のアクセント（5） 24. 日本語のアクセント（6） 25. 日本語のアクセント（7） 26. 日本語のイントネーション・プロミネンス等（1） 27. 日本語のイントネーション・プロミネンス等（2） 28. 地域語の音声現象（1） 29. 地域語の音声現象（2） 30. 記述試験		